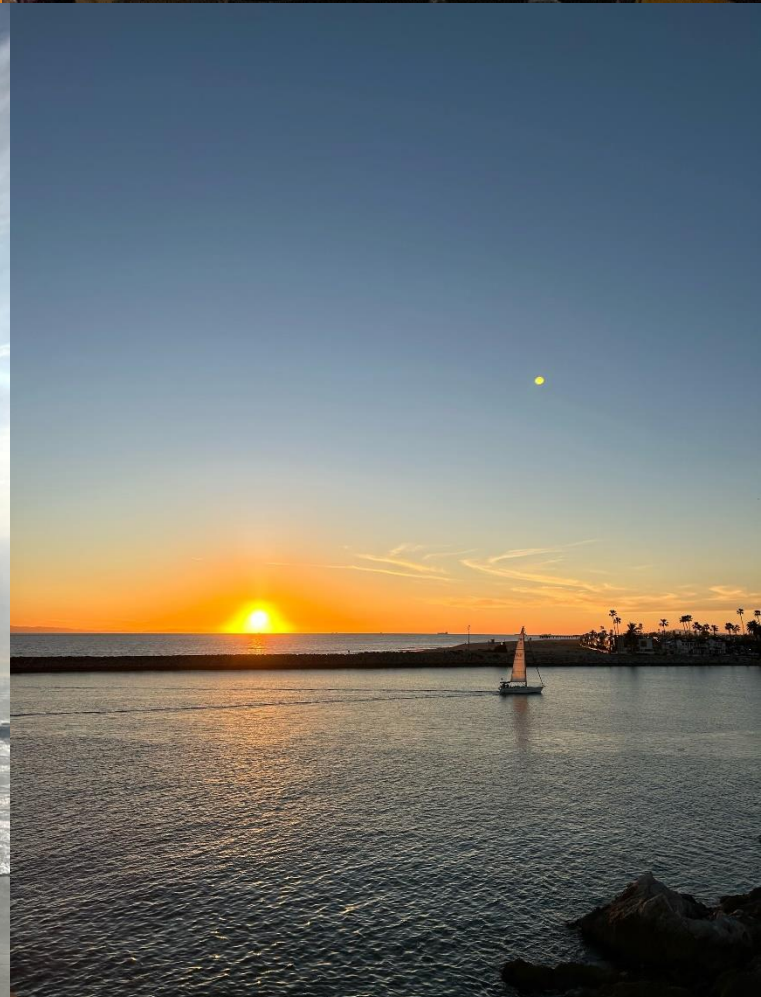


2023年春渡航



2023年春渡航







2023年春渡航





英語の授業に参加することで、コミュニケーションをとるには勇気が大切ということ学びました。異文化を学ぶ良い機会になりました。

**工学部 電子工学科
3年 安立 美文さん**

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： **可** ・ 不可

派遣先：アメリカ UCI

もともと海外で英語を使ってコミュニケーションを取ることや、異国の文化を体験することに関心がありました。コロナ禍ということもあり、現地での語学研修に参加する機会がなかったのですが、今回開催されるということで参加を決めました。英語圏で研修を行いたいと思っており、UCIはアメリカの中でもトップクラスの大学であるということと、週末のアクティビティも豊富で文化を学ぶには最適だと思ったため、このプログラムを選びました。

平日は、午前中に2コマ授業を受けました。Listening&Speakingのクラスでは教科書を使ってリスニング力を養い、グループに分かれてプレゼンテーションなども行いました。プレゼンテーションを通して、間違いを恐れずに英語を話す勇気を身に付け、人の前で話すことに対する抵抗をなくすことができました。この授業のおかげでより多くのUCI生徒と関わることもできたと思っています。

American cultureの授業ではアメリカならではの文化を細かく学ぶことができました。知らなかったことがほとんどで驚くことも多かったですが、アメリカ以外の国の文化を学びたいという意欲にも繋がりました。

午後はUCIの生徒とコミュニケーションをとる機会が多く設けられており、アメリカの学生の生活や文化、どのようなことを学んでいるのかなど、日本との違いを多く学ぶことができました。

週末はディズニーランドやアドベンチャーワールド、ユニバーサルスタジオハリウッドに行ったり、豊富なアクティビティに参加したり、ホストファミリーと過ごすなど充実した日々を過ごすことができました。私たちは、放課後に映画館や美術館に行ったりNBAを見に行きました。芝浦のメンバーと過ごしましたが、至るところでアメリカならではの文化や景色、食事を楽しむことができ、これもまた学びに繋がっていると感じています。

4週間という短い時間でしたが、異文化の中で英語で生活することは私にとってとても価値のある経験になりました。UCIの生徒だけでなく、今回同じプログラムに参加した芝浦のメンバーとも仲良くなれたり、他大の人とも関わることもできました。様々な人に出会うことで自分の人間性も成長することができたと感じています。大学生のうちにこのような経験ができて良かったと思っています。迷っている方は是非参加してみてください。必ず充実した、貴重な経験になると思います。



英語力はもちろん、
様々な力を身に付けることができました！

デザイン工学部 デザイン工学科
1年 野崎 海斗さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可・ ☐ 不可 派遣先： アメリカ カリフォルニア大学アーバイン校

語学研修前から英語力はこれから絶対必要だ感じていましたが、なかなか行動を起こすことができませんでした。そんな中このプログラムを見つけ、何か自分を変えるきっかけとなると感じ応募しました。私はこの語学研修が初めての海外渡航であり、アーバイン校は2週間と4週間のプログラムがありましたが、不安はありつつも思い切って4週間のプログラムにすることを決めました。

語学研修期間中、平日午前中は9：00から1コマ80分の授業を2つ受講しました。1つはスピーキングの授業でディスカッションやプレゼンをしました。もう一つはアメリカの文化について学ぶ授業でした。午後は火曜日と木曜日に、現地の学生とアクティビティを通してコミュニケーションをとるプログラムが用意されていました。クッキー作りやボーリングなどをして現地の学生との仲を深めました。その他の平日の午後や休日は友達とUberを利用しアウトレットやショッピングセンターに行ったり、NBAの観戦やミュージカルの観劇、ディズニー、ユニバーサルスタジオハリウッドを楽しみました。また私のホームステイ先では、家族全員が働いていたため平日は時間がすれ違うことが多かったのですが、休日の夜にホストブラザーが庭でBBQをしてくれたり、一緒に日本のアニメを見たりして過ごすことができました。語学研修期間中、風邪をひいたりホームステイでの困り事など人によって直面する問題が異なるため友達同士での助け合いが不可欠だと思います。

最初は不安しかなかった語学研修ですが、終わってみれば本当に参加してよかったなと思える4週間でした。英語力の向上はもちろん、自分の思うようにはいかない環境での対応力や問題解決能力など、日本にいただけでは絶対に身に着けられない様々な力をこの4週間で得れたと思います。ここで培った力を低下させないためにこれからの日々の英語の勉強を頑張っていきたいと思っています。



ものごとを考える際の視野が広がった！

デザイン工学部 デザイン工学科
2年 竹岡 大輝さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可

派遣先：UCI4週間

英語でコミュニケーションをとることや、海外文化との交流に興味があり、1年間グローバルラーニングコモンズのスタッフとして活動を行っていました。そこでの交流において、さらに海外での生活がどんなものなのか興味を沸きました。そこで、自身の英語力向上の意味も含めて今回のプログラムに参加しました。このプログラムを選んだ理由は、アクティビティが充実しており、それらを通して現地学生との交流を深められると思ったからです。

滞在期間中は、平日の朝9時から正午まで2種類の授業を受講していました。1つ目はグループ内でディスカッションを行い全体の前でプレゼンするものでした。二つ目は映画やゲームなどを通じてアメリカ文化を学んでいくものでした。授業以外では現地学生との交流時間が週二日設けられており私のグループではゲームやお菓子作りをしました。これは、現地学生と交流するには最も良い機会でした。放課後や週末は大学で企画されているアクティビティに参加したり、友人と遊びに行ったりしていました。

この留学は私にとって大きな刺激となりました。私の英語は周囲の日本人学生と比べても劣っていたと思いますし、英語での会話する際にも何度も聞きなおしてしまうことも言いたいことが伝わらないし出てこないことが良くありました。しかし、経験を重ねるにつれ会話のコツがだんだんつかめるようになりました。さらに、海外の人とのコミュニケーションは楽しいだけでなくいつも新しい発見がありました。たくさんの人と話し、たくさんのモノを見て、ものごとを考える規模が今まで日本しか知らなかった自分とでは大きく変わりました。将来を見据えた際に海外で働こうとせずとも、世界に向けてどんなものを発信していけるかを考えるようになったと思います。さらに英語力を身に付け、この感覚を忘れないように今後も何かプログラムに参加したいと思いました。

**留学を通じて自身の英語力の低さを痛感！
何度も心が折れましたが、今では行って
良かったと心から思います！**



**工学部 機械機能工学科
2年 高橋 隆杜さん**

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： **可** ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI

将来はグローバルに活躍できる人材になりたいと常日頃から考えていましたが、テキストをやり、単語帳を読み、リスニング音源を聴く……といった勉強法でのモチベーションが薄れているのも感じていました。そこで実際にネイティブスピーカーと交流し、短期間でも英語力の向上や学習意欲の増加に繋がればと、UCIでの語学留学に参加しました。UCI4週間のプログラムを選んだ理由はとにかくイベントの充実度が高かったことです！イベントを通じて様々なアメリカの文化やルール、そして様々なシチュエーションでの英語を学べる点に大きな魅力を感じました！

UCIの授業は平日午前中のみで、1限に実践的な英語の授業、2限はアメリカンカルチャーに触れるといったものでした。授業内容は渡航前の小テストで振り分けられ、個人の英語力に合った授業が受けられます。私は一番難易度の高いクラスでしたが、毎日のように行う英語でのプレゼンテーションや、日本では考えられないような文化の違いに日々刺激を受け、授業が楽しくて仕方がありませんでした。

放課後や休日には同プログラムに参加した学生とアメリカを堪能しました。最初の一週間ほどはカフェでコーヒーを買うのも、スーパーのレジでお会計をするのも、挨拶することすら不安で仕方がありませんでしたが、慣れてくると自らタクシーの運転手に話しかけて雑談をするなど、英語に対する自信と英語圏で生活することへの覚悟が身に付きました。

渡航前、4週間という期間は私にとってあまりにも長く、英語を話すことへの不安から何度もくじけそうになりました。しかし、留学を終えた今ではあの時一步踏み出せた自分を大いにほめてあげたいと心から思っています！そして最後に、最高の仲間に出会えて本当に良かったです！



アメリカの英語・大地・やさしさ・日本との違いに触れて視野が広がり、もっと英語力を上げられるように、頑張ろうという気持ちが高まりました！！

**システム理工学部 環境システム学科
1年 竹川 紗矢さん**

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ ☐ 不可 派遣先： アメリカ合衆国 UCI

今まで4週間もの間日本を離れたことがなく、ホストファミリーにお世話になるということもなかったため、不安があったが、生きた英語に触れ、英語力を高めるチャンスだと思い、この語学研修に参加することを決めました。様々な学校がある中でUCIを選んだ理由は、アクティビティの充実度と、研修時の現地の気候です。UCIのあるカリフォルニアは1年のほとんどが暖かく過ごしやすい気候で、2月という日本の寒い時期の研修であったため、気候にも惹かれ、UCIを選びました。

平日の午前中は、スピーチの構成や発音の特徴を学んだり、グループワークでのディスカッションをしたりする授業と、アメリカンカルチャーを学ぶ2つの授業がありました。授業では、プレゼンテーションがたくさんあり、最初はためらいのあった授業内の発言も、徐々に発言できるようになりました。間違った英語を使っても先生が直してくれたので、とても学びになりましたし、英語をどんどん使ってみようという気持ちが強くなりました。午後は、おいしいご飯を食べた後に、学校が用意しているフリーアクティビティや、その他のアクティビティに参加したり、ビーチへ遊びに行ったり、現地の学生と会話をしたりして充実した時間を過ごすことができました。アーバインは、海や山の自然が豊かで、LAやアナハイムディズニーなどの観光地へのアクセスも良く、住んでいる人もみんな優しく、大好きな場所になりました。

この4週間で、ホストファミリーやカリフォルニアの人が私に対して優しく接してくれたように、もっと心を広く、人との付き合い方への考え方が良い方向に改まりました。また、毎日多くの自然に触れ、大きな空の下で生活していたため、日本にいるときのように気持ちの焦りもなく、こころが休まりました。実際に生きた英語を聞き、それを自分が使えるように真似してみたり、ドラマの中で聞くフレーズと照らし合わせて、より英語を身近なものだと感じられるようになりました。この貴重な経験からこれからも英語の学びを続けようと思います。

英語圏の文化に触れることで日本との違いと体感することができました！



工学部 機械機能学科
3年 高橋 健吾さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ ☐ 不可

派遣先： アメリカ UCI

自分は英語に対して苦手意識があり、社会に出てからも必要とされる能力だと考えたため入学後のサークル活動などで養おうと考えていました。しかし、自分が入学した年からコロナウイルスの蔓延によりうまく身動きが取れずあきらめていました。そんな中、行動規制の緩和と学校からの奨学金の交付、また学年から考えても今回のプログラムが最後のチャンスになるため思い切って留学を決意しました。私は今回の留学を通して海外の食文化や流行の服や音楽、生活様式の違いを感じてみたいと考えており、UCIのプログラムではLAや郊外に位置するアーバインの魅力がたくさん知れるアクティビティがおおく比較的過ごしやすい気候、治安が良く親切な人が多いなど自分のやりたいことに最も適していると考えたため選びました。

初めは渡航先で友達ができるのか、英語が聞き取れて自分でしゃべることができるのか、ケガなく無事に一か月生活できるのかなど様々な不安を抱えていましたが、現地の方は皆さんとてもやさしく英語の練習を親身に手伝ってくださったり、日本にないゲームや食事を通して交流を深めることができました。

自分はこの留学で出会った多くの国籍の異なる方と話すことで英語の上達のみならず、物事に対する柔軟な考え方や国際性、国籍問わず様々な人とコミュニケーションをとることの重要性を学ぶことができました。

しかし、日本にいたときと比べ言語に対して不自由を感じることも多くあり、今回の渡航で自身が発見できた課題も多くありました。これらの問題を解決するために、より長期的な留学に再挑戦し自分の自信になる経験を積み重ねたいと考えています。



授業や日常生活の中で、アメリカの文化について学ぶことができました！

システム理工学部 数理科学科
3年 渡辺 瑞希さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ ☐ 不可

派遣先：アメリカ UCI4週間

大学に入ってからコロナの影響で留学に行くことはできませんでした。3年生の春は留学に行くなら最後のタイミングかと思い、参加を決めました。中でもUCIを選んだ理由は、カリフォルニアは気候も安定していて観光場所も多くあり楽しかったためです。

プログラム中は平日の午前中は英語の授業があり、午後は週2でUCIの生徒とともにカフェに行ったりボードゲームをしたり、ボウリングに行ったりしました。授業ではTED talkを観たりグループでポスターを作成したり、アメリカの文化について楽しく学びました。友達になったUCIの生徒の一人は日本語を勉強しており、基本的に英語で会話しつつも時折日本語の話もでき面白かったです。授業後や休日は、モールでショッピングをしたりディズニーランドに行ったり、UCIが準備しているアクティビティに参加したりしました。学業に遊びに充実した一か月でした。



英語に対する拒絶感を 払拭することができました！

工学部 電気工学科 3年 玉川 颯大さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可

派遣先：アメリカ・UCI

グローバル化が叫ばれる中、英語の重要性について理解しつつも、英語に対する苦手意識をなかなか払拭することができずにいました。大学生の内に一度は留学に行きたいとは漠然に思いつつも、新型コロナウイルスの影響で行くことができず、そんな中今回のプログラムの存在を知り、思い切って参加することを決意しました。このプログラムを選んだ理由として、留学に行くなら英語の本場であるアメリカに行きたいと考えていたことや、2週間ではなく4週間のほうが英語が身につくのではないかと考えたからです。

滞在期間中は、平日午前中は英語を使った授業や、アメリカの文化について学ぶ授業を受講し、現地の方や他校の人と英語を使って会話をしたり、コミュニケーションをとることができました。また、平日の午後や休日は大学が用意してくれていたプログラムに参加したり、行ってみたかった場所に観光に行くことが多かったです。そしてホストファミリーとは、一緒に映画や日本のアニメを見たり、同じホームステイ先だったサウジアラビア出身の人とコミュニケーションをとることができました。

4週間語学研修という短期間のプログラムでしたが、得られたものは非常に大きかったです。私は高校の時から英語が苦手で、研修前は英語に対して少し拒絶感を抱いていました。ところが、研修を通してそれを払拭することができました。英語は言語であり、コミュニケーションツールのひとつであるということに気づくことができました。今回の留学はこれからの英語に対する向き合い方を変えてくれて、とても実のあるものとなりました。今ではまた他のプログラムなどにも参加してみたいと考えています。



英語を日常的に使わなければならないという環境に身を置くことで英語を話すことへの抵抗が無くなりました！

工学部 機会機能学科
2年 飯田 圭亮さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI

日本にいる限りは英語を話す機会はほとんどなく、今まで学んできた英語をどの程度使うことができるのかを知ることができません。そこで短い期間でも海外留学という英語を使わなければならないという環境に身を置くことで自分がどの程度英語を話せるのかを知るとに加えて、英語を話すことへの抵抗をなくすと同時にスピーキング能力のさらなる向上へ繋げることができます。また、この一定の期間英語を話さなければならないという環境は留学でしか経験できず、海外旅行や英会話教室、大学の講義などでは絶対に経験できないことだと思います。なので今後英語を仕事として使いたい方から最低限の英会話は習得しておきたい方まで少しでも英語を話せるようになりたいと考えている方は留学というものを学生という時間のあるうちに経験しておくべきです。

自分の場合、英語力に全く自信はなく中学レベルの英語の文法にも多少の不安を覚えるほどでした。しかし友人や親など多くの人に勧められてこのプログラムに参加しました。参加する直前まで現地の方と会話が成立するイメージが全く湧かず不安しか感じていませんでした。そして留学開始後、最初こそ緊張と不安でホストファミリーともうまく話すことができませんでしたが、1,2週間経った頃にはホストファミリーや現地の全くの他人などと相手の言っていることをある程度理解し、自分の伝えたいことを伝えて会話を成立させることができ、さらには会話を楽しむ余裕さえ作ることができました。

以上のことから英語への不安がある人もまずはこのプログラムに参加してみることが大切なので一度参加を検討してみてはいかがでしょうか。



たくさんの経験をして、たくさんの友達と思い
出ができました。最高の1ヶ月！

建築学部 建築学科 2年 寺奥 莉央さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI

母が大学生の頃に1ヶ月アメリカに留学をしたときの話を聞いていたので、昔からいつか留学に行きたいと思っていました。しかし、コロナウイルス感染症の関係もあり、なかなか海外に行くことができる状況ではなかったため実現していませんでした。そんな中、友人から語学研修が開催されると聞き、応募しました。

この研修に参加する前は知り合いが誰もいなかったもので、不安もありました。しかし研修が始まると、みんなと仲良くなることができて、最終日は帰るのがとても寂しかったです。現地では他大の人とも授業が一緒だったので、そこでも友達ができました。1ヶ月の研修の中で、ディズニーランドやロサンゼルスに行くアクティビティに参加したり、学校終わりにみんなでレイカーズの試合を見たり、ユニバーサルスタジオに行ったり、週末に友人のいるサンフランシスコに行ったりと、非常に充実していました。授業は朝9時から12時までの2コマで、リスニング・スピーキングとアメリカの文化についてでした。先生は丁寧にわかりやすく教えてくださいました。わたしたちでも聞き取れるようにわかりやすい単語を使ったり、ゆっくり喋ったりしてくれたので理解することができたと思います。また、日本での授業に比べて、グループワークが多かったので、楽しく授業に参加することができました。

ホストファミリーや、現地の学生、店員さんなどとの会話の中で英語を聞き取ることができなかつたり、自分が上手く喋ることができず聞き取ってもらえなかつたりともどかしい思いをすることもたくさんありました。文法を知っていることも大切だと思いますが、会話をする上では伝えようとする気持ちが大切だと感じました。もっと英語が喋ればいいのにと感じるものがたくさんあったので、これからさらに英語を勉強したいと思いました。またアメリカに行きたいです！



**一生できない経験ができます！！
やる気があれば英語力もつきます！**

**工学部 機械機能工学科
3年 長屋 育恵さん**

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI

私は高校2年生の時に初めての海外に2週間行き、とても貴重で楽しい経験ができたので、大学でも絶対に語学研修に参加しようと決めていました。しかし、コロナの影響で1,2年生では開催されず、3年の夏にようやく再開され、参加を決めました。アクティビティが豊富であることやホームステイができることからUCIを選びました。

私は英語に自信がなく、行く前は緊張していましたが、ホストファミリーと対面してそんな緊張は一瞬で消え去りました！授業は平日2コマあり、1コマ目は何度かポスターを作ったり、皆の前で発表したりする機会がありましたが、授業でクラスメイトとたくさん話す機会があり仲良くなれるので、緊張はしませんでした。授業後は週2でCPミーティングという現地の学生と交流する機会がありました。せっかくの機会なのでたくさん質問してたくさん英語で会話した方が良かったです！また、休みの日はホエールウォッチングやディズニーランドなどのアクティビティに参加したり、自分たちでLAやビーチ、アウトレットに行くなどしました。ホストファミリーは何から何までやってくださり、不自由なく過ごせました。料理が本当に上手だったので毎日ご飯が楽しみで、ご飯の時間もたくさん話をしてくださり、毎日楽しく生活できました。英語が少し早くて聞き取れないこともありましたが、わかりやすく言い直してくれました。ホストファミリーと毎日会話をする事で英語の練習になるので、自分から積極的に会話するのをおすすめします！

この4週間は本当にあっという間でした。実際参加してみて、他の日本人学生も参加していたため、どうしても日本人との交流が多くなってしまったが、その分授業やホストファミリー、CPミーティングなどの時間をどう過ごすかによって変わってくると思いました。4週間を経て、渡航前よりも確実に英語力は上がったといえます。今回の経験で得たものを生かせるよう、今後も様々なプログラムに参加していきたいです。

さまざまなアクティビティに参加することで多くの人の交流を楽しむことができた。
また、英語学習のモチベーションとなった。



デザイン学部 デザイン学科
3年 小湊 直輝

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可

派遣先：カリフォルニア大学アーバイン校

私は以前からオンラインの英会話の授業をとっていますが、なかなか実力に結びついている実感を感じることができずにいました。

今回このプログラムに参加した理由は大きく分けて三つあります。一つ目は、実際に英語圏に行くことで日常的な英会話に触れること。二つ目は海外での生活やアクティビティを楽しむこと。そして最後に英語学習のモチベーションを得ることです。

一つ目の実際に日常的な会話にふれるということはホームステイ先のホストファミリーとの会話、レストランやショッピングモール、タクシーのドライバーとの会話などたくさんの場面で経験することができました。

二つ目についてはカリフォルニアでのアクティビティはたくさんあり1ヶ月では消費しきれないほどの楽しみがありました。その過程で多くの友人を得ることにもつながりました。

三つ目については言うまでもなくこの語学研修に参加することによって英語学習へのモチベーションを得て帰ってくることができます。と言うのは、多くの人がカリフォルニアでの生活のさまざまな瞬間を気に入ると感じたためです。この国で生活してみたい、この国の人と仲良くなりたいと覚えることが私のモチベーションにつながりました。